

個人質問

34人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

まちづくり



歩道に放置された自転車

放置自転車を有効活用

問 放置自転車の処分方法は。また、海外へ譲渡する可能性は。

答 一部再利用可能な自転車は本市で使用するか、県下の自転車小売店で構成する岡山県自転車軽自動車商共同組合に有償譲渡し、その他は廃棄している。これまでに、ザンビア共和国で結核対策事業に従事する保健ボランティアに貸与するためNPO法人アムダへ、また、震災復興支援として石巻市及び盛岡市へ無償譲渡などを行っている。

今後、再利用可能な自転車に譲渡の要望があり、公益上の必要性が認められる場合には海外を含め譲渡を検討したい。

ESD活動に取り組む団体に活動拠点を

問 ESD世界会議の成功と今後のESD事業にはNPO等の市民団体との協働が必要だが、受け皿となるセンターなどの整備が必要では。

答 ESD世界会議を契機として、市民団体等を巻き込み、持

続可能なまちづくり活動を広げ、世界会議後も継続的に進展させていくことが大切で、市民協働の受け皿であり活動拠点となるセンターの整備は有効と考えている。

NPO自身による主体的な運営を基本に、ESDに取り組む市民活動の支援、啓発、団体のネットワーク等の機能を持った市民活動センターのような施設を検討したい。

例年以上に会陽のにぎわいを

問 西大寺会陽は貴重な観光資源だが、全市的な盛り上げと会陽に至る導線のにぎわい創出の進捗状況は。

答 会陽が開催される2月には西大寺ファンタジー、当日には会陽冬花火が実施される。平成26年は民間のアイデアを活用し、西大寺駅前の噴水や西大寺ポケットパークでLED等を使ったライトアップや西大寺ふれあいセンターでのイベントが予定されている。また、高梁市のベンガラの灯籠で当日の導線を彩るなど、例年にも増してにぎわうことを期待している。

約7割が計画期間内に完了予定

問 新市建設計画、新市基本計画事業の進捗状況は。

答 合併時に試算した概算事業費に対する平成24年度末時点の執行額の割合が合計で

54.4%と新聞報道されたが、進捗状況の指標にはなりにくいと考えている。

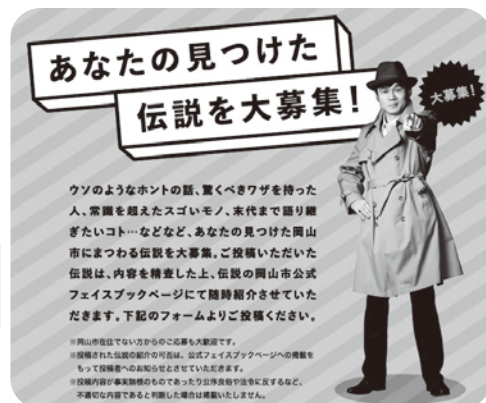
事業数では、現行の新市建設計画が終了する26年度末で御津地域は24事業のうち16、灘崎地域は26事業のうち21事業が、新市基本計画の終了する27年度末で建部地域は15事業のうち10、瀬戸地域は11事業のうち6事業が完了する見込みで、全体では76事業のうち53、約7割の事業が期間内に完了する見込み。計画期間内に完了が見込めない事業も適時適切な進捗管理を行い着実に推進したい。

岡山の「伝説」を発掘

問 本市にはさまざまな伝説がある。さらなる伝説の発掘、発信について工夫が必要では。

答 岡山の自然や歴史、文化などに根ざしたさまざまな伝説は、岡山の誇りとして引き継いでいくべき大切な資源と考えている。

現在、「伝説の岡山市」事業で「あなたの身近な伝説大募集」と銘打って、インターネットを使って広く伝説を募集し、フェイスブックで紹介している。この取り組みをより一層PRし、伝説の発掘に努めたい。



「伝説の岡山市」特設サイト

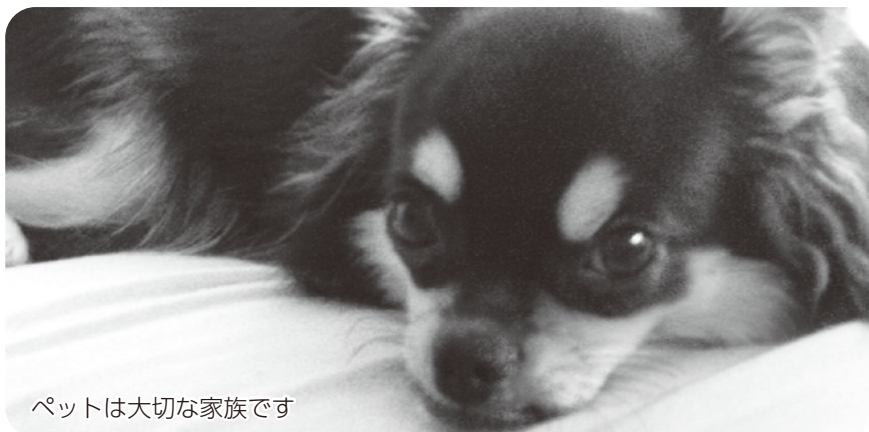
用語解説 ※6 【首長】

行政組織においては、内閣総理大臣や地方公共団体の長を指す

※7 【新市建設計画、新市基本計画】

どちらも市町村の合併の特例等に関する法律第6条に基づき、合併協議会により作成される合併市町村の将来ビジョン等を示すもの

子育て・福祉



ペットは大切な家族です

殺処分ゼロに向け 効果的に情報提供

問 市ホームページの保護犬情報をわかりやすくするとともに、新聞やテレビの活用はできないか。

答 保護犬については、ホームページで随時情報提供しており、平成24年度は、抑留期間内に98%の飼い主が名乗り出て返還されている。今後も、ホームページを工夫し、より市民の目に触れるような情報提供の在り方を考えていく。

また、テレビなどのメディアと連携し、動物愛護精神の普及啓発などを行っているが、さらに連携を強化し、より効果のある情報提供を心掛けたい。

保育士の確保は喫緊の課題

問 本市独自の保育士確保の戦略が必要では。

答 増大する保育ニーズに的確に対応するためには、受け皿となる施設整備とともに、保育士の確保が喫緊の課題である。

しかし、公私立いずれの保育園も保育士の確保に窮している一方で、資格を持ちながら保育士として就業しない人が多数いるのが現状である。

保育の量的拡大を支えるため、

保育士育成校等関係機関との連携、国の待機児童解消加速化プランを活用した処遇改善補助事業の実施、再就職のための相談体制の整備等を行いたい。

障がい者の歯と口腔の 健康づくり

問 障がい者の歯科医療の現状は。また、障がい者への歯科診療システムの枠組みを行政主導で打ち出すべきでは。

答 本市には、障がい者の歯科専門外来のある医療機関が数カ所あるが、外来患者の増加に伴う診療体制の整備や在宅等の障がい者に対する口腔ケアの取り組みなど、整理すべき課題がある。

平成25年度中に策定予定の歯科保健基本計画では、障がい者や要介護者の口腔ケアを重点的に取り組む項目とする。

幼保一体化に向けて協議

問 幼保一体化を試行する3保育園（中山・岡南・太伯）と幼稚園の準備状況は。

答 平成25年に実施した保護者説明会をはじめ、随時、保護者や地元関係者、職員等へ教育・保育の内容や施設改修等について説明し、意見や提案を聞いている。

一体化後の園生活に向けて、保育園児と幼稚園児と一緒に遊ぶ機会を多く持ち、交流を深めるとともに、行事や指導計画の統一に向けた職員同士の話し合いも進んでいる。

また、改修工事に向けて25年度中に実施設計を終える予定であり、関係者の理解と協力を得ながら、一体化に向けた取り組みを進めたい。

全国里親大会を 26年10月に岡山で開催

問 里親の開拓やマッチング、里親支援の進捗状況は。

答 本市の里親登録者数は、平成25年12月現在で49組85人で、里親等への委託児童数は24人。

市職員と里親委託等推進員が登録の全世帯を家庭訪問したり、委託した里親には随時養育相談を行っている。

また、26年10月の全国里親大会の岡山開催に向けて岡山県、市、里親会及び児童施設等で実行委員会を立ち上げる準備を進めている。この大会を通して関係機関相互の連携を強化し、里親等への委託をより一層推進したい。

子宮頸がんワクチン接種

問 ①本市の副反応件数と相談件数は。②安全性を重視して一時中止すべきでは。

答 ①腕や頭など体の部位の痛みなどの症状で、県内で7人（うち本市4人）が国へ報告されている。本市へは関連の相談が数件あり、状況に応じて副反応報告制度や救済制度等の説明をしている。②国の勧告を受け、今後も積極的なワクチン接種の勧奨は差し控えるが、法律に基づく定期接種として行っていきたい。

産業・防災・教育

※8 新産業ゾーンで雇用が拡大

問 雇用創出の現状と今後の見込みは。

答 現在、全19区画で18社が操業しており、平成25年度は氷製造の地場企業が工場の増設を行うなど、一層の産業集積が進んでいる。

総就労者数は、リーマンショック前の20年4月時点ではパート社員等を含めて768人だったが、25年4月時点では1,000人を超えている。また、25年度の採用予定数も58人となっており、景気の回復とともに、今後より一層の雇用拡大が進むものと期待している。

水稻の害虫トビイロウンカ

問 平成25年度のウンカによる被害状況と今後の対策は。

答 25年産米は、天候不順の影響やトビイロウンカ被害等のため収穫量が平年を下回ると見込まれており、10月15日現在の岡山県南部の作況指数は96。国の調査によると、県内のウンカ被害面積は6,360ヘクタールで、農業共済組合によると、市内の水稲被害のうち、ウンカ等の害虫によるものは約4,000筆。

稲の観察と薬剤による防除がウンカ対策の基本であり、岡山県やJAからの情報に注意してもらうことが重要である。

小修繕業者登録制度の着実な遂行

問 平成23年4月から試行しているが、登録業者数が25年から減少している。市が責任を持って制度を遂行する必要があるのでは。

答 現在2度目の試行期間中であり、制度の十分な検証に至ら

なかった前回の反省を踏まえ、今回の試行結果を検証するためにも、ある程度の実績が必要である。そのため、制度の周知に努めるとともに、2月、5月、8月、11月の月初め15日間としている新規登録申請の受付期間を、26年1月から3月の特例期間中は随時受け付け、登録業者数の増加につなげたい。

自主防災会の結成を促進

問 市民説明会を通じた自主防災組織づくりの取り組み状況は。

答 当該地区の自主防災会の結成状況や市の支援制度の内容、災害時における共助の重要性について説明し、自主防災会の結成を呼びかけている。東日本大震災の影響で市民の防災意識が変わりつつあることや市の支援制度を拡充したことにより、平成25年度は現在までに44団体が結成するなど、ここ数年かなりの増加傾向となっている。

さらに、市民説明会の実施により相談件数も増加しており、今後、結成がより促進されることを期待する。

薬用作物の需要や活用を研究

問 本市で薬用作物を栽培する農家戸数と県内の状況は。

答 戸数調査はしていないが、

水田を活用して薬用作物であるハトムギやケール、ドクダミなどを栽培している農業者がいることは把握している。また、公益財団法人日本特産農産物協会の資料によると、県内60戸余りで栽培されている。

薬用作物が将来的に需要拡大の見込まれる作物とされていることも踏まえ、今後は、情報収集に努めるとともに本市農業における活用の可能性について、需要者団体や保健所等との連携を含め研究したい。

教職員と保護者の責務

問 保護者のマナー低下と、学校と保護者の役割についての考えは。

答 学校教育では、学校と保護者が信頼関係を築き、緊密に連携することが大変重要である。一部の保護者にマナーを失した言動があることや、学校と保護者の役割があいまいになってきていることは認識している。

大人の言動が子どもたちへ及ぼす影響は大変大きく、まず教職員が言動を振り返るとともに、基本的なマナーやルールについて、保護者懇談会等で呼び掛け、PTA研修等で話し合う場を持つなど、さまざまな機会に教職員と保護者がそれぞれの責務を自覚し、果たしていくことが必要である。



漢方薬にも使われる薬用作物の一種ドクダミ